

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

1 目的

市全域及び市内 5 地域ごとの要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を的確に把握することで、地域の抱える課題を特定する。また、高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画の策定、介護予防・日常生活支援総合事業の運営に活用する。

2 調査の概要

- (1) 調査地域 昭島市全域
- (2) 調査対象 65 歳以上の高齢者（要介護 1～5 の方を除く。）
- (3) 対象者数 3,000 人
- (4) 抽出方法 無作為抽出（ただし、地域間に偏りのないよう調整を実施）
- (5) 調査方法 郵送送付・郵送回収
- (6) 調査期間 令和 5 年 1 月中旬から 2 月上旬まで

3 調査の項目（75 問）

調査項目は、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、助け合い、健康などに関する内容

- (1) 国が例示する必須項目 (35 問)
- (2) 国が例示するオプション項目 (29 問)
- (3) 昭島市が設定する項目 (11 問)（下記 5 のとおり）

4 スケジュール

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 月中旬から 2 月上旬 | 調査票の発送・回収 |
| 2 月中旬から 3 月下旬 | 集計・分析・調査報告書作成 |

5 昭島市の実施方法

- (1) 厚生労働省が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づき実施
- (2) 国が例示するオプション項目の 29 問については、実施は自治体の裁量によるとされているが、昭島市は全て実施。
- (3) 昭島市が設定する項目については、地域連絡会などにより把握した課題などを考慮し、以下の 11 問とした。
- (4) 回答のあった方には、昭島市が設定する項目「Q10」の回答内容により関心のある取組のパンフレット等を送付する。

【昭島市が設定する項目】

Q 1. 高齢者の相談窓口として、市内5ヶ所に「地域包括支援センター」が設置されていることを知っていますか。 ----- 1. はい 2. いいえ

Q2. Q1で「1. はい」に○を付けた方のみ

「地域包括支援センター」をどのようにして知りましたか。

1. 地域包括支援センターの訪問や電話
2. 民生委員・児童委員からの紹介
3. 市役所からの紹介
4. 家族や友人からの紹介
5. パンフレット
6. 高齢者福祉施設や介護事業所からの紹介
7. 市ホームページ
8. その他（ ）

Q3. Q1で「1. はい」に○を付けた方のみ

「地域包括支援センター」の役割や業務内容について、知っているものはありますか。（いくつでも）

- 1 市が設置している高齢者の相談窓口であること
- 2 介護、健康、医療、福祉や生活など様々な相談に応じていること
- 3 高齢者のご家族からの相談にも応じていること
- 4 地域の方々と協力しながら支援を必要とする高齢者の早期発見・支援に努めていること
- 5 高齢者虐待の防止や高齢者虐待に対応していること
- 6 お金の管理や契約などの不安に対応していること
- 7 認知症の相談に応じていること
- 8 要支援1・2の認定を受けた方の心身状態の悪化を防ぐためにケアプランを作成していること
- 9 体操教室などを開催し、介護予防を支援していること
- 10 地域の医療・介護・福祉などの関係者と協力しながら、暮らしやすい地域づくりのためのネットワークづくりに努めていること
- 11 名前は知っているが、役割や業務内容は知らない

Q 4. あなたは、日常生活でスマートフォンやパソコンなどを使って、情報収集していますか。

1. スマートフォンやパソコンを持っているが、必要がないため、していない
2. スマートフォンやパソコンを持っているが、使い方が分からないため、していない
3. スマートフォンやパソコンなどの機器を持っていない
4. 既になっている

Q5. あなたは、今後の健康状態の悪化に備えて、自身の医療や介護の利用、生き方などについて、考えておくことは必要だと思いますか。----- 1. はい 2. いいえ

Q 6. あなたは、認知症についての相談をどこにしますか。

1. 認知症初期相談窓口（市役所内）
2. 地域包括支援センター
3. 民生委員・児童委員
4. 病院
5. 介護事業所
6. その他（ ）

Q 7. あなたは、高齢者の見守り体制についてどのように考えますか。 現在、見守りを必要としていない方は、見守りが必要になった場合を想定してお答えください。 (いくつでも。7 以外) 1. 地域包括支援センターによる見守りを受けたい 2. 自治会による見守りを受けたい 3. 民生委員・児童委員による見守りを受けたい 4. 近隣住民による見守りを受けたい 5. 家族や友人による見守りを受けたい 6. その他 () 7. 見守りは必要ない
Q 8. あなたは、移動手段がないために、外出をあきらめたことがありますか。(いくつでも。7 以外) 1. 通院をあきらめたことがある 2. 行政手続をあきらめたことがある 3. 生活必需品の買物をあきらめたことがある 4. 趣味活動のグループへの参加をあきらめたことがある 5. 家族や友人に会いに行くことをあきらめたことがある 6. その他 () 7. 移動手段がないことを理由に外出をあきらめたことがない
Q 9. あなたは、自分の身体を丈夫にし、健康的な生活を送るための取組みにどのくらい関心がありますか。 1. 関心がない 2. 関心はあるが、今後 6 ヶ月以内にしようとは考えていない 3. 今後 6 ヶ月以内にしようとしているが、この 1 ヶ月以内にする予定はない 4. 今後 1 ヶ月以内にする予定である 5. 既に行っている (6 ヶ月未満) 6. 既に行っている (6 ヶ月以上)
Q10. あなたは健康的な生活を送るための次のどの取組に特に関心がありますか。 1. 足腰を強くするための取り組みをしてみたい 2. 嚥んだり、飲んだりする状態を高める取り組みをしてみたい 3. 栄養状態の改善のための取り組みをしてみたい 4. 認知症予防のために脳機能を高める取り組みをしてみたい 5. 特になし
Q11. 今後の介護と介護を受ける場所について、あなたはどのような希望をお持ちですか。 現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。 1. 家族の介護を受け、できる限り在宅で暮らしたい 2. 介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい 3. 家族の介護と介護サービスの利用を組み合わせ、できる限り在宅で暮らしたい 4. 特別養護老人ホームなどの福祉施設に入り、介護を受けたい 5. 有料老人ホームやケアハウスなど、高齢者向けのサービスがある住宅に入りたい 6. その他 (具体的) 7. わからない